

# ダムの防災操作（洪水調節）による効果のお知らせ

令和元年7月22日  
土木建築部河川課

7月19日～21日の台風5号及び梅雨前線による降雨で大分県が管理する下記の1ダムにおいて、洪水の一部をダムに貯留すること（洪水調節）で、下流河川の水位上昇を抑制したことについてお知らせします。

## 1. 防災操作（洪水調節）実施ダム

ダム名	所在地	河川名	防災操作日時	
			開始	終了
北川ダム	佐伯市宇目大字南田原	一級河川 五ヶ瀬川水系北川	7月19日 18:38	7月21日 05:06

※防災操作（洪水調節）：ダムに流れ込む水を一時的に貯留し、下流河川の水量を抑えることで、水位上昇を抑制すること。

## 2. 防災操作（洪水調節）の概要と効果

### 【北川ダム】

- 最大流入量 751.0m<sup>3</sup>/s のうち 155.5m<sup>3</sup>/s をダムに貯め、下流へは 595.5m<sup>3</sup>/s を放流しました。
- 上記操作により、下流河川（熊田橋地点）において、河川水位を約 0.5m 低減させました。

### 【問い合わせ先】

河川課 ダム・海岸班

山田・田川・金森

【電話】097-506-4595（直通）



安心・活力・発展

大分県土木建築部

# 令和元年7月19日～21日の台風5号及び梅雨前線の影響による 北川ダム防災操作の効果について

令和元年7月22日

## 【速報推計】

湿った空気が流れ込み大気の状態が非常に不安定となり、19日10時から雨が降り始めました。

19日14時から雨脚が強まり、流域平均で時間雨量36ミリを観測しました。

19日18時までに累計91mmの降雨があり、流入量は187m<sup>3</sup>/sに増加し、その後も流入量は増加し続け、19日18時38分には流入量が洪水量200m<sup>3</sup>/sに達したため、洪水調節を開始しました。

その後も、九州西部を通過した台風5号の影響を受け、流入量が増加を続け20日14時40分には最大流入量751m<sup>3</sup>/sを記録しました。

その後は降雨とともに流入量も次第に減少に転じ、21日5時06分に流入量が洪水量の200m<sup>3</sup>/sまで減少しました。

総雨量は降り始めの19日11時から21日5時までで、414mmでした。

今回の洪水調節により、下流河川(合流点付近)において、河川水位を約0.5m低減させたと思われます。



### 問い合わせ先

大分県 土木建築部 河川課 ダム・海岸班

電話 (097)506-4595(直通)

大分県 芹川・北川ダム管理事務所 北川ダム管理支所

電話 (097)597-6890



# 令和元年7月19日～21日の台風5号及び梅雨前線の影響による 北川ダム防災操作の効果について

【 延岡市北川町 熊田橋地点(北川、小川合流点)の河川水位比較 】

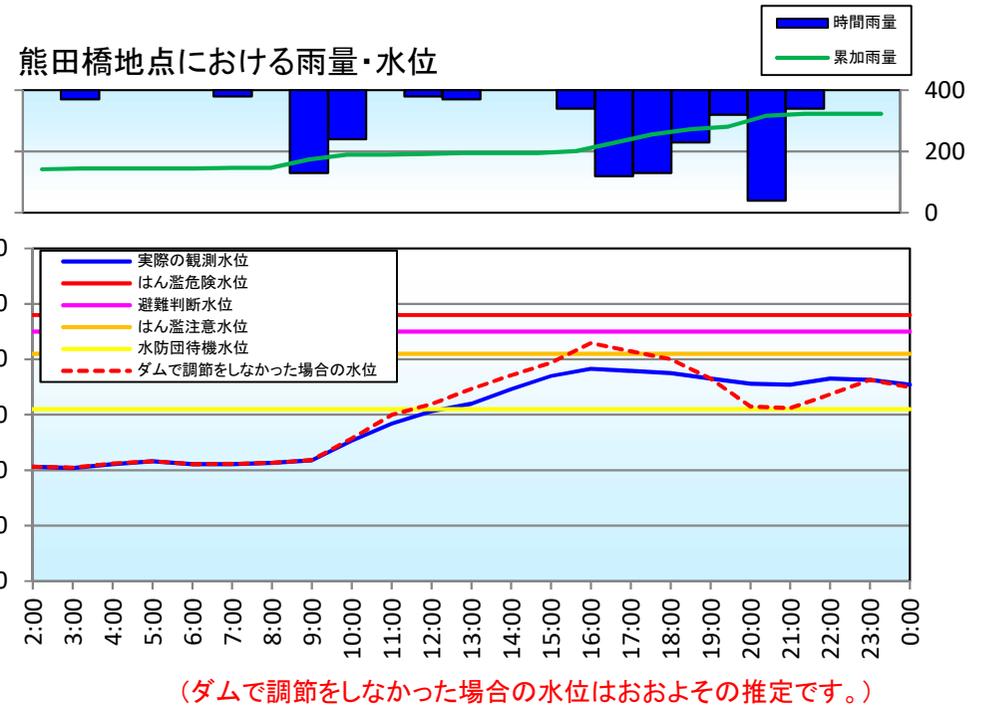
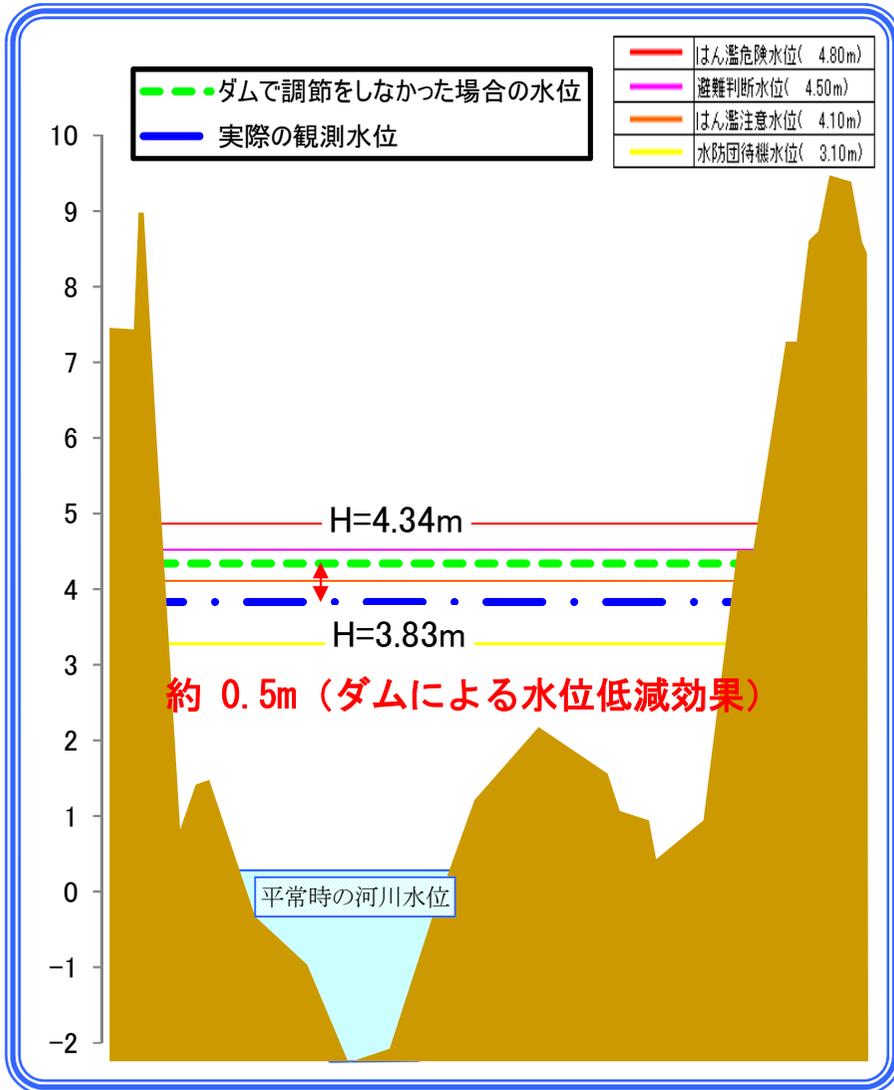


写真1 通常時の北川の様子



写真2 今回降雨時の北川の様子